

言語と文化: 2017年度3Q第1回目からの質問から

山元啓史

東京工業大学

1 好きなことば

1. Disney
2. Good Luck!
3. People don't know what they want until you show it to them.
4. all men are created equal
5. いちばんたいせつなことは、目に見えない
6. いつか、アイドルの一番星になる！
7. おふとん
8. おもしろい
9. ここに記すには余白が狭すぎる。
10. すじりもじり運動
11. すっとこどっこい
12. するり・ことり
13. とりあえずやってみよう
14. なせば大抵なんとかなる
15. なんとなく
16. へいき、へっちゃら
17. やるからには楽しく、やるからには徹底的に
18. テック
19. 一期一会
20. 一生懸命
21. 不労所得
22. 二度寝
23. 人生は選択と後悔の連続だ
24. 人間万事塞翁が馬
25. 克己心
26. 全力全開
27. 千里の里も一歩から
28. 大好き

29. 幸せ、幸福
30. 愛
31. 日本語
32. 楽しめず楽しむ
33. 楽観
34. 歯
35. 気持ち
36. 理論は脆くも崩れ去るが、優れた観測は決して色あせない
37. 癒し、
38. 目には目を 歯には歯を
39. 群盲象を評す
40. 自主自立
41. 自由
42. 適当
43. 黄昏

2 話せる外国語

1. 英語
2. 静岡弁
3. うちなーぐち（沖縄方言）
4. 北九州弁
5. 博多弁
6. 日本語の中で、たまに「そんな表現しないよ」と言われることがあるので、千葉特有の訛りなのかもしれません。
7. 群馬弁（群馬生まれです）

3 これから話してみたい外国語

1. うちなーぐち
2. イタリア語
3. エスペラント
4. キングスイングリッシュ
5. スペイン語
6. ドイツ語
7. フランス語
8. ベトナム語
9. ロシア語
10. 中国語

11. 中国語
12. 地球外生命体が外国に来た時に使う言語
13. 大阪弁
14. 英語
15. 関西弁
16. 韓国語

4 ここがだめだぞ外国語教育！

1. ?,「二人組」が発生すること
2. おもしろさ、外国語を学ぶ事の大切さ・面白さを伝えるべき。また、どのような文化の国であるかの理解があれば文法や単語などの仕組みが分かって頭に入りやすい(と思う)が、そこが抜けていると思う。
3. 一方的, 受動的な授業が多い。
4. 一方的, 押し付けがましいところ
5. 一方的, 理屈をつけ過ぎることがある。
6. 会話, バイトで店員をしてみてもわかったことは、伝えようとしたら大体伝わる、ということです。正しくない英語を話すこと恐れる心がなければ話せないという意識が少なくなり苦手意識を持たなくて済む人が多くなると思います。動詞の正しい使い方も大事ですがまずは英語に慣れることが大事ではないかと思えます。大まかなものがわかって慣れさせてから細かいことを少しずつやるべきだと思います。読み書きには細かいルールは大事ですが言語は話すことが大事だと思うのでそこをできるような教育を目指すべきだと思います。
7. 会話, リスニング、スピーキングが少ない
8. 会話, 中学校では、他動詞と自動詞の違いや文法を教えず、なんとなくで語順を覚えさせた後、高校で初めて文法や文型を習い、文を作る上で、他動詞と自動詞の差がいかに大きいものであるかを知る点。そのため、中学時代に習った単語は自動詞なのか他動詞なのかを新しく覚え直す必要がある。また、日本語(母国語)は音を覚えてある程度話せるようになってから文字を学ぶのに対して、英語は音と文字を同時に覚えなくてはならない点。
9. 会話, 中高での教育はあまり問題があるとは思わない、質の低い英会話教室や英語教材で稼いでいる企業が多いのは問題だと思う
10. 会話, 今の日本では文法や綴りなど読み書きばかりの勉強をしていて、話す聞くの勉強や練習があまりできていないという点。
11. 会話, 会話が少ないところ
12. 会話, 会話の学習をほとんどしない
13. 会話, 単語などを書いて覚えさせるところ。個人的には耳から外国語を覚えたほうが身につくと思う。
14. 会話, 外国語は文字からではなく、音から教えるべきだと思う
15. 会話, 大学までの英語教育は英語を読んでも英語を話したりするということがあまり重視されていないので個人的にはもう少し英語を話せるようになりたかった。
16. 会話, 学校の外国語教育では、読み書きが重視されがちで、話す・聞くことが苦手になってしまい、外国語ができるという自信がつかないことが問題だと思う。

17. 会話, 実践的な会話についてほとんど習わないところ
18. 会話, 授業のなかで話す練習の時間がない
19. 会話, 教員が正しく発音できていない点
20. 会話, 話にくい雰囲気、その練習不足
21. 会話, 話せるための教育がすくない(し、しかも、自分も消極的)
22. 会話, 近年では小学校から英語をやるという愚業をしている。小学校はしっかりとした土台を作るべきである。また、スピーキングやリスニングにあまり力を入れていないので大学に入ってから苦労してしまう。中学校から四技能をしっかりやることが大切だと思う。
23. 基礎, 第2外国語をやるには英語ができてないとおもう
24. 基礎から教えないこと
25. 必要性, 英語の必要性があまり分かっていない学生が多い。英語が分からなくても日本で生きていける。
26. 文化, 何かとノリが日本人離れしていて理解できない。
27. 文化, 多文化理解の観点が少し足りない場合が多々あります。
28. 文法, 初期の文法はフィーリングで覚えられるものばかりなのに、初めから理論で覚えさせようとするところ。
29. 文法, 文法丸暗記が多く実際にコミュニケーションを取るとなると使いにくいように思う。文献を読む、メールを書く等だと日本の外国語教育はわるくないと思います。
30. 文法, 文法偏重
31. 文法, 義務教育では文法から初めて文法で終わること
32. 文法, 進捗確認をテスト形式で行うこと
33. 文法, 読解を気にしすぎて、英語を使うことに慣れない。
34. 方法, 理解度ごとにクラスが分かれていないことが多い
35. 暗記, 暗記が面倒だ
36. 機会, 中学で、話せることのメリットをあまり感じる事ができない。また、自発的に行わない限り、英語に触れる機会が授業だけになり、単調であまり面白くない文章を読むだけになり嫌いになってしまう。
37. 機会, 使う機会がもう少し多ければ定着しそうなものだ
38. 機会, 使う機会が少ないから、実践的な力がつきにくい
39. 機会, 実践の機会がない
40. 機会, 日本の英語教育では、実際に生の英語を聞く機会・話す機会が少ない。また、英語以外の言語について学ぶ機会が少ない。
41. 機会, 筆記/読解に重点を置きすぎていて、話せない。また、話す機会が少なく、いざ話すと気になっても勇気が足りない。
42. 機会, 読み書きに比べて、話す機会がかなり少ないこと
43. 機会, 読むことと聞くことが中心で、書くこと話すことという自分の意見を発表する機会が少ない点。
44. 選択肢, この大学について言えば、第二外国語の選択が少ない